

駒澤大学禅文化歴史博物館年次報告書

令和3年度



駒澤大学禅文化歴史博物館

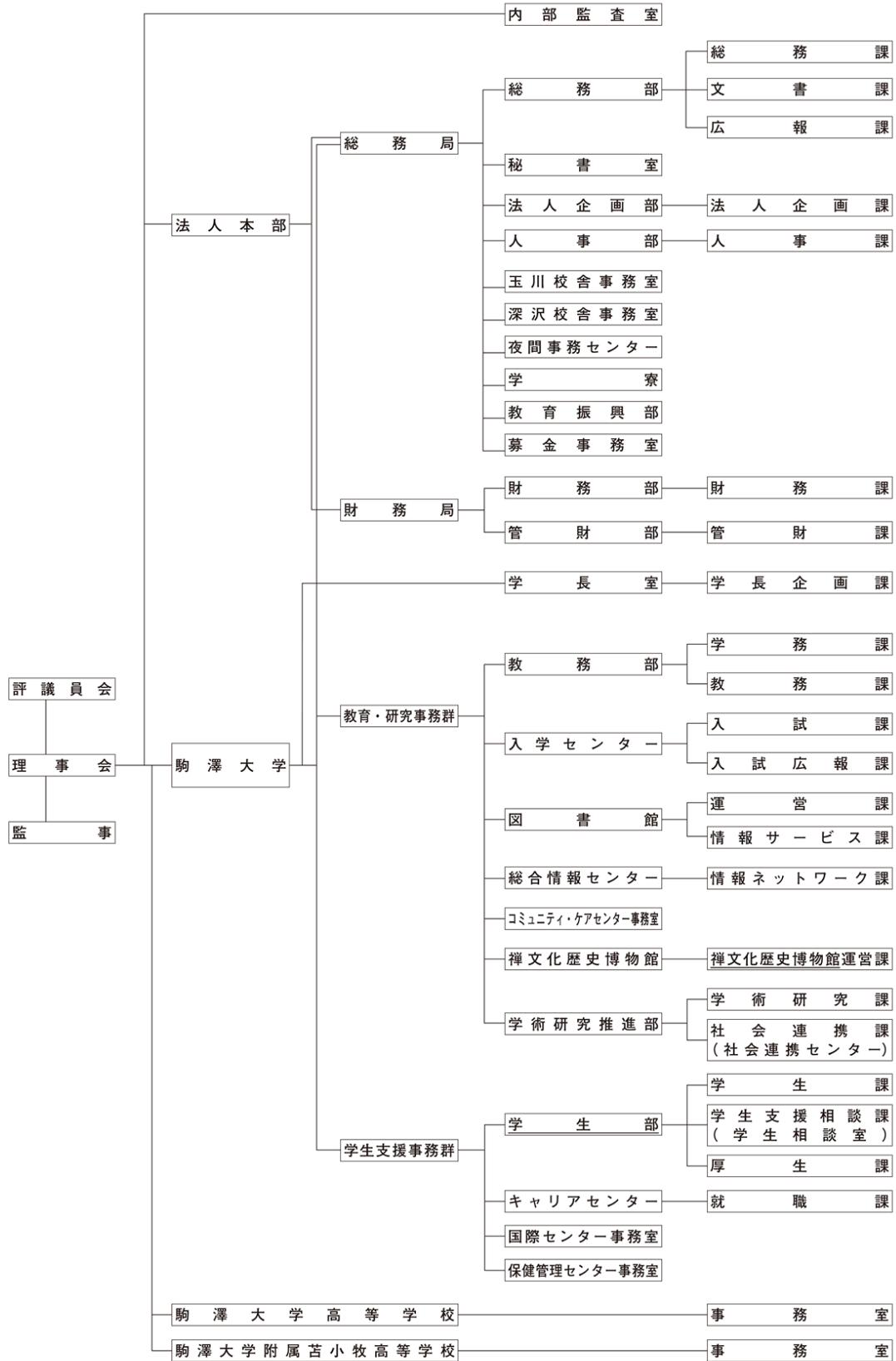
目次

年次報告書

1. 組織・施設	1
① 学内組織図	
② 規程	
③ 禅文化歴史博物館の組織・人員	
④ 施設	
2. 博物館活動報告	5
① 開館日数・入館者統計	
② 会議・出張	
③ 展示	
④ 出版事業	
⑤ 資料収集	
⑥ 教育・普及に関する協力	
⑦ 博物館資料の活用	
⑧ 渉外	
⑨ 広報・紹介・取材協力など	
3. 受贈図書交換先	14
4. 令和3年度 禅文化歴史博物館 展示・催事一覧	15

1. 組織・施設

①学内組織図



②規程

■禅文化歴史博物館規程

平成14年4月1日制定
平成21年10月30日改訂
平成22年4月1日改訂
平成27年4月1日改訂

(設置)

第1条 駒澤大学（以下「本学」という。）に駒澤大学禅文化歴史博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(目的)

第2条 博物館は、本学の建学理念に基づき、博物館法に準拠し、研究資料の調査、収集、整理、保管、展示を行い、斯学の発展、普及に寄与するとともに、本学博物館学講座の実習にその場を提供することを目的とする。

(事業)

第3条 博物館は、前条に掲げる目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理、保管、閲覧、展示及び調査・研究に関する事業
- (2) 資料の解説、作製、貸借に関する事業
- (3) 収集資料の目録、研究報告書等の作成、配布に関する事業
- (4) 講習会、研究会、講演会等の実施に関する事業
- (5) 本学博物館学講座への協力に関する事業
- (6) 研究機関、学校、社会教育への協力に関する事業
- (7) その他、必要と認められる事業

(職員)

第4条 博物館に次の職員を置く。

- (1) 博物館長（以下「館長」という。） 1人
- (2) 学芸員その他の職員 若干人

(館長)

第5条 館長は、本学の専任教授のなかから学長が選考し、全学教授会の同意を得て、学長がこれを委嘱する。

2 館長は、博物館を代表し、事務・事業を統轄する。

3 館長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 学長が退任したときは、館長は原則として前項の規定にかかわらず退任するものとする。

5 館長に長期にわたる事故があり、代行者が必要と認められたときは、本学の専任教授のなかから学長がこれを選考し、全学教授会の同意を得て、学長が委嘱する。

(学芸員)

第6条 学芸員は、博物館資料の収集及び展示、普及活動等の博物館事業に携わる。

2 学芸員は、学芸員資格を有する本学教職員の中から学長が委嘱する。

(博物館運営委員会)

第7条 博物館に博物館の運営に関する事項を協議するため、博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(博物館資料選定委員会)

第8条 博物館に収蔵すべき資料を選定するため、博物館資料選定委員会（以下「資料選定委員会」という。）を置く。

2 資料選定委員会に関する規程は、別に定める。
(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、博物館の管理・運営上必要な事項は、運営委員会がこれを定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、運営委員会及び全学教授会の議を経て、学長がその意見を聴き、これを行う。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。

2 駒澤大学禅文化歴史博物館を英語で表記する場合は、The Museum of Zen Culture and History, Komazawa University とする。

附 則

この規程は、平成21年10月30日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

③ 禅文化歴史博物館の組織・人員

・ 禅文化歴史博物館常勤スタッフ

館長 村松 哲文
 課長 西岡 文
 係長 山下 純平 (禅ブランディング係兼任)
 学芸員 塚田 博 (嘱託職員)
 学芸員 佐藤 大樹 (嘱託職員)

・ 禅文化歴史博物館運営委員会

委員	禅文化歴史博物館長	村松 哲文
	教務部長	絹川 真哉
	図書館長	大山 礼子
	仏教学部准教授	大澤 邦由
	文学部教授	林 讓
	経済学部教授	松井 柳平
	法学部教授	王 志安
	経営学部教授	村山 元理
	医療健康科学部講師	新井 知大
	GMS 学部教授 (前期)	リンスキー・マイケル
	GMS 学部教授 (後期)	松前 恵環
	総合教育研究部教授	内藤 寿子
	禅文化歴史博物館 (学芸員)	塚田 博
	禅文化歴史博物館 (学芸員)	佐藤 大樹
幹事	禅文化歴史博物館運営課課長	西岡 文
	禅文化歴史博物館運営課係長 (禅ブランディング係兼任)	山下 純平

・ 禅文化歴史博物館資料選定委員会

(禅文化歴史博物館紀要編集委員兼任)

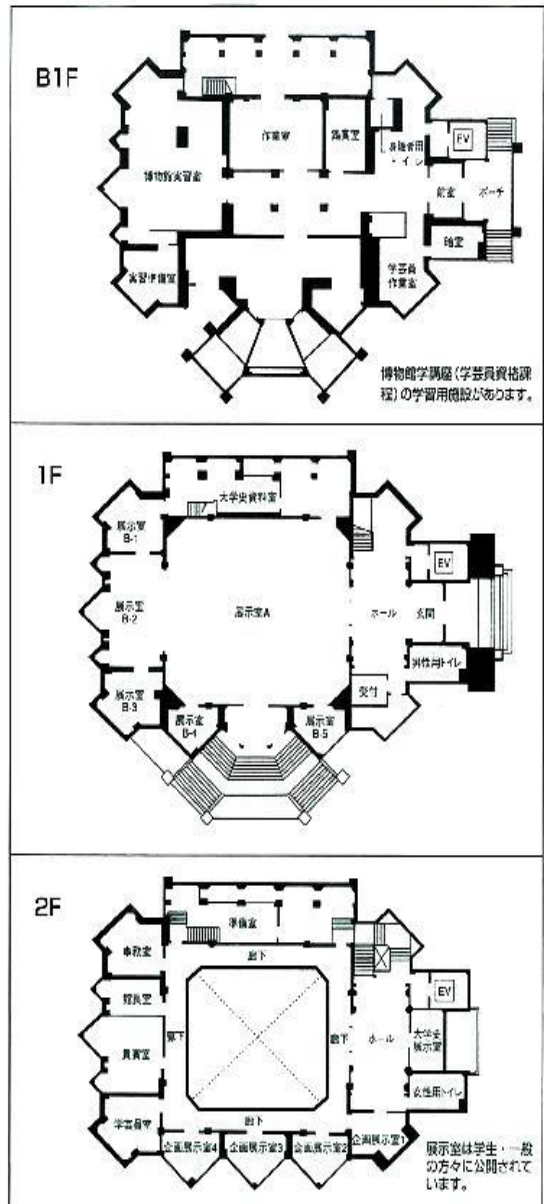
委員	禅文化歴史博物館長	村松 哲文
	仏教学部教授	角田 泰隆
	文学部教授	林 讓
	文学部准教授	角道 亮介
	総合教育研究部教授	小川 隆
	禅文化歴史博物館 (学芸員)	塚田 博
	禅文化歴史博物館 (学芸員)	佐藤 大樹
幹事	禅文化歴史博物館運営課課長	西岡 文
	禅文化歴史博物館運営課係長 (禅ブランディング係兼任)	山下 純平

④施設

・施設概要

施設名称 駒澤大学禅文化歴史博物館(耕雲館)
 種別 博物館相当施設(平成18年11月に指定)
 所在地 東京都世田谷区駒沢1-23-1
 設計監理 菅原榮蔵
 (改修:熊谷組一級建築士事務所・トータルメディア開発研究所)
 施工 森田土木建築事務所
 (保存改修:熊谷組・トータルメディア開発研究所)
 様式 ライト風
 工期着工 (保存改修1999年10月)
 竣工 1928年4月30日(保存改修2001年3月31日)
 建築面積 559.78㎡
 延床面積 1569.89㎡
 地下1階 567.36㎡
 1階 535.47㎡
 2階 415.59㎡
 3階 66.1㎡
 PH 13.52㎡
 構造 SRC 鉄骨鉄筋コンクリート造
 階数 地上3階 地下1階
 外壁 スクラッチタイル貼り一部吹付け外装材
 屋根 コンクリート下地ウレタン系塗膜防水 トップライ
 ト(中央部)
 主要用途
 地下1階 博物館実習室・作業室・鑑賞室・収蔵庫
 1階 エントランスホール・法要スペース・展示室5
 室・大学史資料室
 2階 館長室・事務室・学芸員室・貴賓室・展示室5
 室
 3階 収蔵庫
 電気設備 引込み 受変電設備 高圧引込
 分電盤 キュービクル式(175KVA)
 照明設備 一般照明・展示用照明
 弱電設備 放送・電話・TV・LAN・防犯
 機械設備 空調機:パッケージ型エアコン(GHP, EHP)
 給水方式 受水槽、高置水槽による重力式
 給湯器 電気、ガス湯沸器による局所給湯
 防災設備 非常用照明・誘導灯・自火報
 防災設備 消火器

禅文化歴史博物館(東京都選定歴史的建造物「耕雲館」)



館内図面

2. 博物館活動報告

※新型コロナウイルス感染症の流行により学内のみの見学としていたが、6月1日より学内者と入構許可を受けた学外者のみ入館可とした。

①開館日数・入館者統計

月	開館日数	教職員				本学学生				卒業生				一般				午前計	午後計	夜間計	入館者計
		午前	午後	夜間	小計	午前	午後	夜間	小計	午前	午後	夜間	小計	午前	午後	夜間	小計				
4月	22	52	78	0	130	168	110	0	278	1	0	0	1	69	48	0	117	290	236	0	526
5月	21	27	52	0	79	123	192	0	315	0	0	0	0	77	56	0	133	227	300	0	527
6月	23	57	96	0	153	504	900	0	1,404	1	0	0	1	59	71	0	130	621	1,067	0	1,688
7月	17	37	96	0	133	141	780	0	921	0	0	0	0	34	38	0	72	212	914	0	1,126
8月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	10	7	6	0	13	29	62	0	91	1	2	0	3	48	49	0	97	85	119	0	204
10月	19	16	29	0	45	60	94	0	154	5	0	0	5	162	99	0	261	243	222	0	465
11月	21	18	23	0	41	367	415	0	782	1	0	0	1	109	89	0	198	495	527	0	1,022
12月	18	8	44	0	52	289	239	0	528	6	4	0	10	28	47	0	75	331	334	0	665
1月	14	3	7	0	10	32	37	0	69	0	1	0	1	7	10	0	17	42	55	0	97
2月	15	10	14	0	24	10	10	0	20	1	1	0	2	80	55	0	135	101	80	0	181
3月	16	9	36	0	45	50	112	0	162	2	1	0	3	68	320	0	388	129	469	0	598
合計	198	244	481	0	725	1,773	2,951	0	4,724	18	9	0	27	741	882	0	1,623	2,776	4,323	0	7,099

表1 令和3年度入館者数

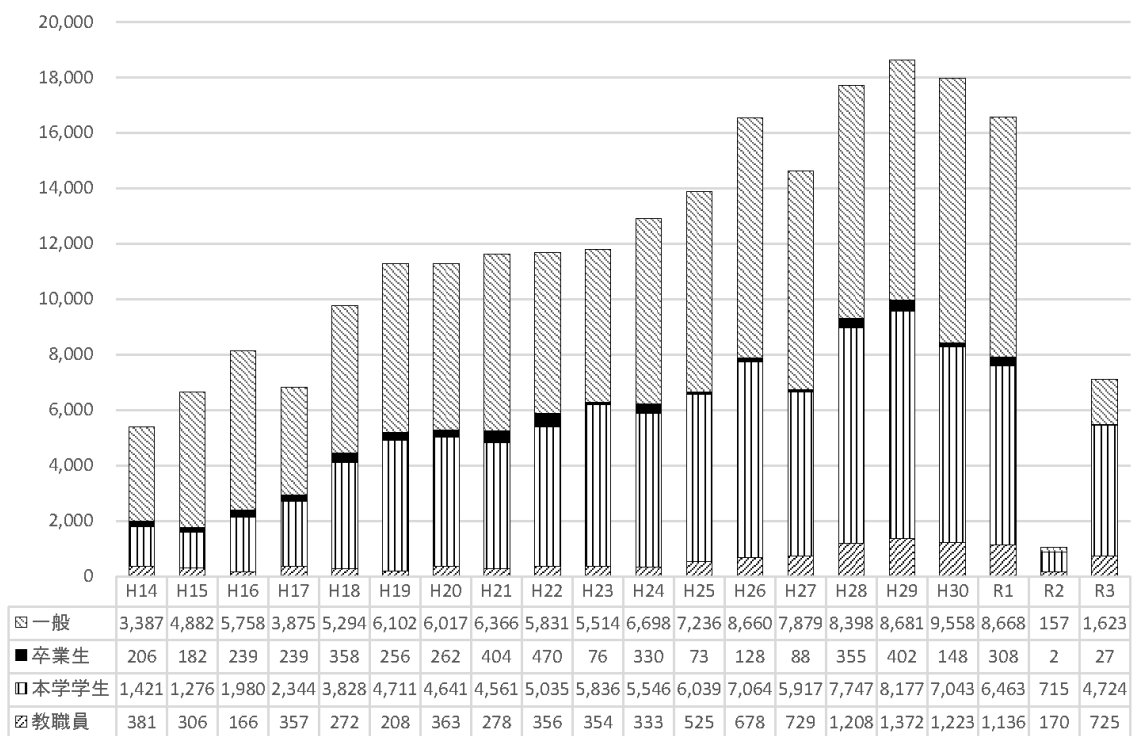


表2 入館者数の推移

2. 博物館活動報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日間の開館日数、入館者数と各年度の入館者の推移は表1・2に示したとおりである。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策により、学内者および駒澤大学キャンパスへの入構許可を受けた学外者を対象に開館した（学外者へは6月1日から一般公開）。

当館は、博物館法の博物館に相当する施設で、その開館基準は、年間100日以上が義務付けられている。本年度は198日開館し、延べ7,099人の利用者があった。

また、令和3年度の団体見学は以下のとおりである。

<団体見学等>

・キャンパスツアー

4月29日(木・祝)	キャンパス見学会	38名
5月4日(火・祝)	キャンパス見学会	41名
5月5日(水・祝)	キャンパス見学会	39名
6月15日(火)	キャンパス見学会	36名
6月25日(金)	キャンパス見学会	30名
6月9日(水)	キャンパス見学会	8名
7月14日(水)	キャンパス見学会	48名
9月20日(月)	キャンパス見学会	83名
10月1日(金)	キャンパス見学会	65名
10月16日(土)	キャンパス見学会	58名
12月9日(木)	キャンパス見学	3名
12月20日(月)	キャンパス見学	2名
3月19日(土)	キャンパス見学会	269名

・一般団体

7月6日(火)	日本セカンドライフ協会	6名
11月17日(水)	大田区郷土の会	24名
12月8日(水)	専修大学高島先生授業	2名
12月20日(月)	青山学院歴史資料館準備委員会	7名

3月19日(土) (財)平和協会 23名

・その他団体

6月10日(木)	入学センター KPS 研修	46名
10月12日(火)	クイズサークル	10名
12月9日(木)	入学センター撮影	11名
12月13日(月)	文・飯田先生お客様	2名
2月28日(月)	内定者研修	6名

②会議・出張

運営委員会

第1回

日時：令和3年5月10日(月)午後1時00分より

場所：オンライン (Google meet)

議題：1. 諸報告

- 1) 令和3年度 禅文化歴史博物館運営委員会委員及び規程について

2) 令和2年度 活動報告 (禅文化歴史博物館・禅ブランディング事業)

3) 令和2年度 決算報告 (同上)

4) 令和3年度 事業計画、当初予算について (同上)

5) 令和3年度 展示・催事スケジュール・開館カレンダー、企画展について

2. 審議事項

1) 禅文化歴史博物館資料選定委員会委員について

2) 第3期中期事業計画(2022-2026)【教学関係】(案)について：追加議題

3) 禅文化歴史博物館開館20周年に向けての取組み並びに令和4年度企画展について

4) ZENFES「駒大エール駅伝」企画概要、内規について

5) 禅ブランディング事業の今後の運営について

3. その他

1) 博物館内の見学会について

第2回

日時：令和3年7月12日(月)午後1時00分より

場所：オンライン (Google meet)

議題：1. 諸報告

1) 「紀要」の発行について

2) 文化庁補助金について

3) Google Cultural Institute との契約について

4) 博物館紹介動画の制作について (経過報告)

5) 禅ブランディング事業進捗状況について

2. 審議事項

1) 禅文化歴史博物館の開館20周年に向けた取り組みについて

2) 禅ブランディング事業の今後の運営について

3) その他

3. その他

1) 「meetup! Presentation&Pitch」の開催について

第3回

日時：令和3年10月26日(月)午後4時20分より

場所：オンライン (Google meet)

議題：1. 諸報告

1) 新入生セミナーでの利用状況について

2) 文化庁補助金について (WiFi 環境)

3) 前期(4/1～9/30)活動報告

4) 寄贈資料(望月コレクション)について

5) 禅ブランディング事業進捗状況について

6) その他

2. 審議事項

1) 令和3年度補正予算について

2. 博物館活動報告

- 2) 令和4年度事業計画および予算について
 - 3) 禅ブランディング事業の今後の運営について
 - 4) その他
3. その他

第4回

日時：令和4年1月27日(月)午後2時00分より

場所：オンライン (Google meet)

議題：1. 諸報告

- 1) 令和4年度予算について
- 2) 新規受贈資料の受け入れについて
- 3) 博物館紹介動画、所蔵資料紹介動画について
- 4) 新入生セミナーについて
- 5) 禅ブランディング事業進捗状況について
- 6) その他

2. 審議事項

1) 禅ブランディング事業成果等の今後の取扱い方法について

2) その他

3. その他

1) 世田谷区教育委員会「わくわくウィンタープラン」及び駒沢オリンピック公園「駒沢ファンタジアラリー」への協力について

資料選定委員会

本年度の開催はなし

出張

- | | |
|-----------|---|
| 4月23日(金) | 寄贈資料受け取りのため(望月様宅)(塚田) |
| 4月24日(土) | 令和3年度企画展の参考のため(永青文庫)(塚田) |
| 6月30日(水) | 資料借用依頼のため(万葉洞)(塚田) |
| 7月16日(金) | 寄贈資料受け取りのため(望月様宅)(塚田・佐藤) |
| 8月23日(月) | 企画展告知等協力依頼のため(新潟県・岡山県東京事務所)(塚田・山下) |
| 9月7日(火) | 企画展告知等協力依頼のため(表参道・新潟館ネスパス)(山下) |
| 9月25日(土) | 資料借用の為(万葉洞)(塚田) |
| 10月4日(月) | 禅ブランディング事業 ZenFes の鼎談企画にかかわる視察同行(AoyamaTreehouse)(山下) |
| 11月29日(月) | 博物館紹介動画ナレーション収録立ち合い(JT STUDIO a kihabara)(山下) |

- | | |
|-------------------|---|
| 11月24日(水) | 資料返却のため(万葉洞)(塚田) |
| 1月11日(火) | 相撲部への取材・調査のため(玉川校舎)(塚田・津久井) |
| 1月28日(金) | 正法眼蔵嗣書草案本断簡レブリカ作製のための事前調査・挨拶・打ち合わせ(国際マイクロ写真工業社)(塚田) |
| 2月7日(月)
～8日(火) | 館蔵資料の外注撮影により資料の運搬に同行するため(宇治市歴史資料館・興聖寺)(塚田) |
| 3月10日(木) | 相撲部への取材・調査のため(玉川校舎)(津久井) |

③展示・セミナー・その他の活動

・展示

当館は、本学の特色を生かした禅の文化と歴史をテーマとした常設展示室(1階)、さまざまな大学の情報を発信する企画展示室(2階)、『施檀林』の学寮時代からの歴史を辿る大学史展示室(2階)で構成されている。

令和3年4月1日～令和4年3月31日間に予定していた展示・催事は、巻末の別表の通りである。また、実施された個々の内容は以下の通りである。

常設展示室

常設展示室は、各展示室に掛軸風のデザインの解説グラフィックを配し、ガラスケース内に各展示室のテーマに対応した資料を展示している。ガラスケース内の展示について展示室AとBの二部構成としている。なお、特別公開ならびに特集展などとして、次の展示を行った。(担当：佐藤・塚田)

特別公開 道元禅師真筆『正法眼蔵嗣書』

春季：11月23日(月)～3月24日(水)

秋季：10月4日(月)～11月20日(土)

特別公開 大涅槃図

会期：2月16日(木)～3月3日(水)

関連イベント：村松哲文館長のギャラリートーク
2月18日(金)13時～(対面・オンライン)
(詳細は「催事」にて後述)



禅博歳時記

仏教行事に親しみをもってもらうため、簡易的な展示を行い、叢林（禅宗寺院）の年中行事を紹介した。今年度は以下のテーマを月ごとに設けた。（担当：塚田）

- 4月：花まつり（降誕会）
- 7月：精霊棚（お盆飾り）・七夕
- 10月：達磨忌
- 2月：涅槃会

企画展示室

企画展示室は、多様なテーマを基に学内の研究成果や学術情報を発信している。

館主催の企画展以外にも、各学部・学科などとの共催展も視野に入れた企画を展開し、学生・卒業生などの発表の場ともなっている。本年度は、博物館学講座受講者による、企画展示室を利用した展示の実習も行われた。

書でたどる良寛の足跡

会期：10月4日(月)～11月20日(土)

全国良寛会会長小島正芳氏監修のもと、良寛墨蹟の優品からその足跡をたどる展示を行った。曹洞宗の中の良寛という視点に立ち、良寛が敬慕した道元禅師の真筆『正法眼蔵嗣書』の公開（例年は秋季特別公開）、修行寺院である備中玉島円通寺の住持、同時代に活躍した禅僧たちの書画も公開するなど、本学の特色を活かした良寛展を試みた。（担当：塚田）

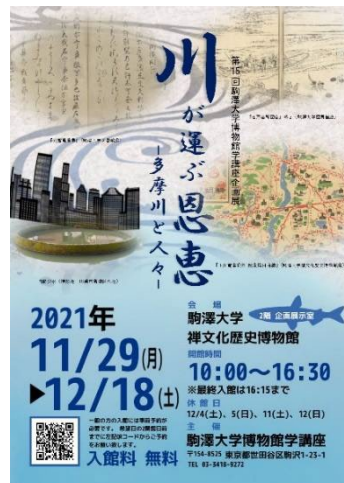


第15回 駒澤大学博物館学講座企画展
「川が運ぶ恩恵—多摩川と人々—」
 会期：11月29日(月)～12月18日(土)

博物館学講座の授業の一環として、受講生自身の手による企画展を実施した。

各企画展示室のテーマは以下の通り。

- 企画展示室1 流域の開発と布
- 企画展示室2 多摩川を利用した仕事
- 企画展示室3 川がもたらした用水と農業
- 企画展示室4 多摩川と田園都市構想



大学史展示室

大学史展示室では、駒澤大学ゆかりの禅僧の墨蹟、貴重な寄贈資料等を随時展示している。本年度は、下記のテーマのもとと大学史の一端を紹介した。

特集展 22 1964 と変わるコマザワ

会期：2020年10月1日(木)～2021年7月22日(木)
 ※次年度へ継続

1964年の東京オリンピックと前後して、駒沢地域や本学が遂げていった変貌に焦点を当てた。「1964と世田谷・駒沢」「1964と駒澤大学」の2つのテーマを設け、前者では路面電車から地下鉄への変化や駒沢公園の整備、後者では開校80周年を迎えた本学が、第一次ベビーブーム世代の入学を背景にしたキャンパス整備などの転換期や、1964年に全日本大学野球選手権大会で初優勝し、オリンピックデモ野球に参加した本学野球部の活躍を紹介した。（担当：塚田）

※本展示は、2020年4月より開始する予定であったが、オリンピックの延期・感染拡大防止のための休館のため、開始時期を変更した。



特集展 23 曹洞宗の出版活動と駒澤大学

会期：10月4日(月)～3月23日(水)※次年度へ継続

禅文化歴史博物館では、2019年度に秋田県の曹洞宗寺院である陽田寺旧蔵資料 547 点を受贈し、2020 年度に資料の整理作業を行った。書籍(禅籍)類 110 点と、紙型類 437 点からなるこれらの資料は、近代における出版活動や駒澤大学(曹洞宗大学)にとって、大変関わりの深い資料であることがわかった。

本展示では、新規受贈資料「飯塚禅應・哲英師関係資料」と当館所蔵の印刷関係資料を通じて近代における曹洞宗の出版活動の紹介を行った。(担当：佐藤・松尾)



・セミナー

禅の歴史と文化を解りやすく伝えるため、展示にあわせ「禅文化歴史博物館セミナー」(講演会)や「実践セミナー」を開催した。

禅文化歴史博物館セミナー

第 40 回 禅博セミナー「慈愛の人良寛入門」

開催日：10/13 (水) 16:30～18:00

講師：小島 正芳 (全国良寛会会長)

会場：オンライン (YouTube ライブ配信)

参加者：79 名

第 40 回 禅博セミナー「慈愛の人良寛入門」

アーカイブ配信

開催日：10/14 (水) ~11/20 (土)

視聴者数：514 名



実践セミナー

第 35 回禅博実践セミナー「臘八坐禅」

開催日：12月8日(水)

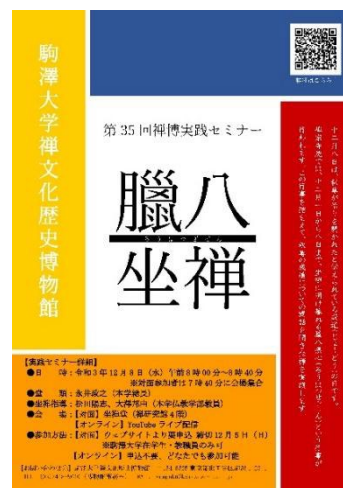
会場：本学駒沢校舎禅研究館 4 階坐禅堂・YouTube ライブ配信

参加者(対面)：28 名

(オンライン)：43 名

アーカイブ URL：

<https://www.youtube.com/live/Ib1kRneS1ig?feature=share>



・その他の活動

2. 博物館活動報告

年中行事に合わせたイベントや、博物館が所蔵する資料を解説した動画など、来館者に楽しみながら学んでもらえるような催事を提供した。

催事

ふれあい七夕まつり

期間：7月6日（火）～7日（水）

場所：禅文化歴史博物館・種月館2階・記念講堂

参加者（対面）：954名

（オンライン）：38名（オンラインはフォームで願い事を受付）

例年行われていた「ふれあい七夕まつり」が、昨年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となったが、本年度は開催することができた。来館者に短冊を用意し、願い事を書いていただき、当館正面玄関前に設置した笹竹に吊した。オンラインでの参加も可能とし、フォームで願い事を受け付けた。参加人数は合わせて992名であった。



特別公開「大涅槃図」村松哲文館長のギャラリートーク

日時：2月18日（金）13時～（対面・オンライン）

場所：禅文化歴史博物館1階中央展示室

参加者（対面）：21名

（オンライン）：74名

アーカイブURL：

https://www.youtube.com/live/OAsEN_WrFpw?feature=share

第15回 ふれあい禅寺めぐり

新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止

YouTube 禅博チャンネル

博物館公式 YouTube チャンネルを開設し、動画による資料紹介やオンラインセミナー等の実施場所として活用を始めた。各動画の URL は巻末の資料に示した。

公開日	タイトル
2月7日(月)	駒澤大学禅文化歴史博物館紹介動画
2月7日(月)	資料紹介「一仏両祖像」
2月7日(月)	資料紹介「釈尊生涯のレリーフ」

2月7日(月)	資料紹介「中国の観音菩薩(像)」
2月7日(月)	資料紹介「高祖道元禪師行跡図」
2月7日(月)	資料紹介「曹洞宗開祖・道元禪師直筆『正法眼蔵嗣書』」
2月7日(月)	資料紹介「禅の源流 達磨」
2月7日(月)	資料紹介「瓦が語る仏教伝来」
2月7日(月)	資料紹介「『正法眼蔵辨註』の版木」
2月7日(月)	資料紹介「異界へ送るお金 紙銭」
3月15日(火)	『正法眼蔵辨註』版木摺り作業

④出版事業

発行した刊行物は、以下のとおりである。

- ・禅文化歴史博物館紀要第5号(令和2年度)
- ・企画展「書でたどる良寛の足跡」図録

⑤資料収集

当館では曹洞宗からみた禅の歴史と文化にスポットを当て、曹洞禅僧の墨蹟を中心に収集している。また臨済宗・黄檗宗・中国僧の墨蹟や禅画、寺院関係資料、禅文化の中で派生した美術工芸資料、東洋の仏教美術資料に至るまで、幅広い分野の資料を収集にとめている。購入資料は、展示に供すると同時に、博物館学講座等での学習にも使用している。通年で購入検討資料についての情報を集め、資料選定委員会にて審議して購入し、必要に応じて外部の有識者による意見を求めている。

固定資産

教育用図書資料

- ・『開館20周年記念デザインアート』（製作：だるま商店）購入

Google Arts&Culture：

<https://g.co/arts/2quKacPgh3GS92176>



教育用備品資料

・なし

	当初予算	補正予算	決算額	残額
博物館収蔵品費 (図書)	9,700,000	0	330,000	9,370,000
博物館収蔵品費 (備品)	1,000,000	0	0	1,000,000
計	10,700,000	0	330,000	10,370,000

表3 予算・決算(資料購入)

寄贈資料

- ・「墨跡(掛け軸・額・屏風等)」477点 望月惟司氏(4月23日)
- ・「掛け軸」8点 伊藤隆壽氏(12月15日)

資料修復・資料保存環境等

資料修復はなし。

資料燻蒸として、当館地下実習室内にて、株式会社フミテックによって新規寄贈資料等の燻蒸が行われた。また学外から寄贈された資料などを関東港業株式会社東京営業所に運搬し、同社にて委託燻蒸を行った(8月10日・16～19日/1月17日～21日)。

また、平成22年度以来継続している当館所蔵「正法眼蔵辨註」版木の摺り作業を行い、保存対策を行った。株式会社アダチ版画研究所の摺師により、本年度は巻十二の34枚68面を実施した(3月9日～11日)。

⑥教育・普及に関する協力**・博物館学講座**

当館は、規程第3条5項に謳われているように、博物館学講座への協力に関する事業を行う目的で開設された施設でもある。当館での博物館学講座の利用を、科目ごとにまとめると次の通りである。

博物館実習(学内)

館所蔵の実物資料を用いた掛軸等の取扱い方の実践、博物館資料の記録方法の学習(資料の写真撮影)、博物館施設見学(展示室・作業室・収蔵庫)、博物館のバックヤードの見学(学芸員の視点から、現在の博物館の取り組みを紹介)、展示実習の企画・準備に関する助言・補助。

6月15日(火)	博物館学授業17名
6月1日(火)	博物館学授業16名
6月22日(火)	博物館学授業17名
6月8日(火)	博物館学授業17名
11月9日(火)	博物館学授業29名
11月16日(火)	博物館学授業32名
11月17日(火)	博物館学授業20名

11月18日(火)	博物館学授業15名
11月19日(火)	博物館学授業20名
11月20日(火)	博物館学授業2名
11月22日(月)	博物館学授業21名
11月24日(水)	博物館学授業28名
11月25日(水)	博物館学授業19名
11月26日(水)	博物館学授業22名
12月1日(水)	博物館学授業12名
12月2日(水)	博物館学授業16名
12月3日(水)	博物館学授業13名
12月6日(月)	博物館学授業13名
12月7日(火)	博物館学授業21名
12月8日(水)	博物館学授業15名
12月9日(木)	博物館学授業9名
12月10日(金)	博物館学授業16名
12月13日(月)	博物館学授業20名
12月14日(火)	博物館学授業8名
12月15日(水)	博物館学授業16名
12月16日(木)	博物館学授業9名
12月17日(金)	博物館学授業14名
12月18日(土)	博物館学授業11名
12月20日(月)	博物館学授業15名
12月21日(火)	博物館学授業4名
12月22日(水)	博物館学授業8名
12月23日(木)	博物館学授業8名
12月24日(金)	博物館学授業1名
1月13日(木)	博物館学授業2名

展示実習**第15回 博物館学講座企画展「川が運ぶ恩恵—多摩川と人々—」**

準備・撤収期間：11月17日(水)～12月23日(木)

会期：11月29日(月)～12月18日(土)

参加者：延べ 654名

博物館実習(学内)の一環として、講座受講者による企画展示室を利用した展示の実習が行われた。博物館側としては、より円滑な協力体制をとれるよう引き続き努めていきたい。

・授業活用

当館では各学部に関連した企画展示や、図書館所蔵の貴重書展示を行っており、展示室や資料を利用した様々な講義・演習が行われている。

<授業見学等>

・新入生セミナー

4月29日(木・祝)	現応・松田先生 25名
4月30日(金)	総合・山本先生 38名
5月6日(木)	現応・大前先生 29名
5月11日(火)	歴史・佐藤先生 19名
5月12日(水)	歴史・浅倉先生 26名
5月13日(木)	現応・吉田先生 19名
5月21日(金)	経営・岸田先生 25名

2. 博物館活動報告

5月26日(水)	経済・溝手先生 27名
5月27日(木)	現応・長山先生 24名
6月1日(火)	歴史・菅野先生 30名
6月1日(火)	経済・井上先生 27名
6月2日(水)	経済・渡邊先生 28名
6月3日(木)	国文・近衛先生 37名
6月3日(木)	現応・鈴木先生 23名
6月4日(金)	経済・江口先生 28名
6月7日(月)	経済・矢野先生 24名
6月7日(月)	商・北口先生 2名
6月7日(月)	総合・深井先生 7名
6月8日(火)	経済・北條先生 31名
6月9日(水)	商・高野先生 26名
6月10日(木)	商・李先生 26名
6月11日(金)	経営・明石先生 23名
6月11日(金)	商・小西先生 26名
6月11日(金)	経済・浅田先生 18名
6月14日(月)	仏教・大澤先生 37名
6月14日(月)	総合・持丸先生 7名
6月14日(月)	経済・河田先生 26名
6月15日(火)	医療・名古先生 16名
6月15日(火)	経済・田中先生 30名
6月16日(水)	経済・羽島先生 23名
6月18日(金)	商・中西先生 29名
6月18日(金)	経済・堀内先生 32名
6月21日(月)	仏教・村上先生 33名
6月22日(火)	医療・名古先生 15名
6月23日(水)	仏教・程先生 34名
6月24日(木)	英米・鈴木先生 35名
6月24日(木)	総合・小沢先生 38名
6月24日(木)	商・栗城先生 30名
6月28日(月)	仏教・八尾先生 20名
6月29日(火)	歴史・藤野先生&角道先生 23名
6月29日(火)	医療・名古先生 14名
6月30日(水)	仏教・徳野先生 36名
6月30日(水)	経営・青木先生 22名
7月1日(木)	国文・三樹先生 42名
7月6日(火)	医療・名古先生 14名
7月7日(水)	経営・西村先生 (オンライン中継)
7月13日(火)	経営・豊田先生 27名
・その他授業	
7月19日(月)	歴史・中野先生授業 14名
7月20日(火)	歴史・中野先生授業 11名
7月2日(金)	仏教文献学・飯塚先生 15名
10月21日(木)	英米文・モート・セーラ先生 11名
11月2日(火)	地理・高橋先生 18名
11月9日(火)	書道・石井先生 18名
11月12日(金)	仏教・堀川先生 13名
11月16日(火)	文・近衛先生 15名

11月16日(火)	仏教・館先生 10名
11月20日(土)	仏教・八尾先生 30名
12月16日(木)	社会科教育法・鈴木先生 16名

⑦博物館資料の活用

(1)資料の掲載

【駒沢ゴルフ場、耕雲館屋上より、昭和6年頃航空写真 画像3枚】

『緑ヶ丘西区自治会会報』 緑ヶ丘西区自治会
(2021年5月15日)

【ポエ画像 JPEG ファイル4点】

『SNET台湾YouTubeチャンネル「台湾修学旅行アカデミー第11回台湾の民間信仰」』 NPO法人日本台湾教育支援研究者ネットワーク (2021年11月配信)

【涅槃図】

『禅の友2月号』 曹洞宗宗務庁(2022年2月1日発行)

【正法眼蔵副書】

『新潟県NST新潟総合テレビ「良寛さん特別番組」』 株式会社コム (2021年12月31日放送)

【澤木興道画賛 達磨図(葛城山人坐禅するの句)】
『慈雲尊者顕彰会会報(第5号)』 慈雲尊者顕彰会
(2022年3月28日発行)

(2)資料調査・資料閲覧

・なし

(3)資料貸出

・なし

(4)その他

【鳴らし物画像、音】

『課外活動で作成しているゲームアプリの効果音に使用』 本学学生

⑧渉外

例年、10月末～11月上旬の期間に、東京都教育委員会主催「東京文化財ウィーク」に協力する形で、「東京都選定歴史的建造物の公開事業」に参加している。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、大学キャンパス内への学外者の入構が制限され、一般公開ができないため、参加を見送った。

「わくわくぜんぱく探検ジャー」

期 間：12月15日(水)～3月31日(木)

対 象：小・中学生 (自称含む)

参加者：20名

2. 博物館活動報告

世田谷区教育委員会が開催する「わくわくウィンタープラン」に協力し「わくわくぜんぱく探検ジャー」を開催。小・中学生に向けたワークシートを作成した。



駒沢オリンピック公園「駒沢ファンタジアラリー」

期間: 12月7日(火) ~ 3月6日(日)

駒沢オリンピック公園「駒沢ファンタジアラリー」のスポットとして協力した。クイズを1問提供し、スタンプラリー参加者に博物館または大学に立ち寄る機会になるようにした。

⑨ 広報・紹介・取材協力など

(1) 博物館紹介

- ・『366日の東京アートめぐり』 (株)asmoyu (2022年1月12日発行)
- ・『東京マニアック博物館おもしろ珍ミュージアム新装改訂版』 エー・アール・ティ株式会社 (2021年6月30日発行)
- ・『オズマガジン』 スターツ出版株式会社(2021年6月10日発行)
- ・『無料で楽しめる! 東京大人のミュージアム』 昭文社 (2021年9月13日発行)
- ・学芸員インタビュー、企画展告知
『禅の友 10月号』 曹洞宗宗務庁 (2021年10月1日発行)
- ・『駒澤大学教育後援会会報』 駒澤大学教育後援会 (2021年7月16日発行)
- ・『せたがや文化マップ Vol.5』 世田谷区生活文化政策部 (2021年11月)

(2) 展示紹介

- ・企画展「書でたどる良寛の足跡」・関連セミナー告知
区報『おしらせ せたがや (1815号)』 世田谷区 (2021年10月1日発行)
- ・問答歌・七言絶句「大江茫々」・企画展「書でたどる良寛の足跡」告知

全国良寛会会報『良寛だより (174号)』 全国良寛会 (2021年10月1日発行)

- ・企画展「書でたどる良寛の足跡」紹介
『朝日新聞 朝刊 22面』 朝日新聞 (2021年11月3日)
- ・企画展「書でたどる良寛の足跡」ポスター掲載
『禅の友 11月号』 曹洞宗宗務庁 (2021年11月1日発行)
- ・企画展「書でたどる良寛の足跡」ポスター掲載
『曹洞宗報 10月号』 曹洞宗宗務庁 (2021年10月1日発行)
- ・特別公開「大涅槃図」紹介
区報『おしらせ せたがや 1831号』 世田谷区 (2022年2月15日発行)
- ・特別公開「大涅槃図」紹介、涅槃図、一仏両祖像掲載
『朝日新聞 夕刊 4面』 朝日新聞 (2022年2月15日)

(3) セミナー紹介

- ・なし

3. 受贈図書交換先

当館の開設以来、様々な機関、個人より貴重な文献資料をご寄贈いただいている。令和3年度には、以下の機関より図書を受贈した。(以下五〇音順・敬省略)

<大学博物館>

大阪大谷大学博物館
鹿児島大学総合研究博物館
金沢大学資料館
関西学院大学博物館
関西大学博物館
熊本大学五高記念館
昭和女子大学光葉博物館
西南学院大学博物館
大東文化歴史資料館
東京家政学院生活文化博物館
東京家政大学博物館
同志社大学歴史資料館
東北大学学術資源研究公開センター史料館
南山大学人類学博物館
日本工業大学工業技術博物館
福澤諭吉記念慶應義塾史展示館
立正大学博物館
立正大学ロータスギャラリー特別展示室
立命館大学国際平和ミュージアム

<大学・学校>

青山学院資料センター
追手門学院大学学院志研究室
学習院大学 学芸員課程委員会
学習院大学大学院人文科学研究科
神奈川大学史料編纂室
慶應義塾福沢研究センター
國學院大學研究開発推進機構
駒澤大学駒澤会 50周年記念事業実行委員会
大東文化大学百年史編纂委員会
東京基督教大学 31周年記念誌編纂委員会
日本大学企画広報部広報課
立教大学 立教学院史資料センター

<博物館>

伊豆の国市郷土資料館
市川歴史博物館
上田市立信濃国分寺資料館
越前町織田文化歴史館
大磯町郷土資料館
お札と切手の博物館(国立印刷局博物館)
鎌倉国宝館
行田市郷土博物館
清瀬市郷土博物館
埼玉県立歴史と民俗の博物館
酒井酒造美術館 一般財団法人 五橋文庫
酒田市美術館
杉並区立郷土博物館分館

世田谷区立郷土資料館
袖ヶ浦市郷土博物館
千葉市立郷土博物館
土浦市立博物館
帝国データバンク史料館
十日町市博物館
豊島区立郷土資料館
中岡慎太郎館
長崎歴史文化博物館
那須塩原市那須野が原博物館
沼津市明治資料館
沼津市歴史民俗資料館
練馬区立石神井公園ふるさと文化館
野田市郷土博物館
福岡市美術館
船橋市郷土資料館
松本市立博物館
宮代町郷土資料館
山梨県立考古博物館
野球殿堂博物館
横浜市歴史博物館
吉村昭記念文学館

<その他団体>

いやひこ堂
岩国中央ロータリークラブ
株式会社クマヒラ
株式会社三オブックス
株式会社メイツユニバーサルコンテンツ
株式会社悠光堂
かみつけの里博物館
かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会
紀伊国屋
渋沢栄一記念財団
墨田区教育委員会
文化財虫菌害研究所
慈雲尊者顕彰会
スターツ出版株式会社
世田谷区政策経営部政策企画課区史編纂担当
曹洞宗宗務庁
第19回全国藩校サミット壬生大会実行委員事務局
第20回全国藩校サミット壬生大会実行委員事務局
台東区教育委員会
ティーケーブランニング
東京都博物館協議会
長野市教育委員会文化財課松代文化施設等管理事務所
日本芸術文化振興会
日本博物館協会
律宗戒学院
全国良寛会

<個人>
伊藤隆壽